

令和	3	年度	事業者番号	0063	事業所番号	006300
----	---	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	株式会社 エフテック 久喜第2工場	前年度における事業所数	2
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村 久喜市	字 ・ 地 番	河原井町43番地
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産 業 分 類 名 (中 分 類)	31 輸送用機械器具製造業		
分 類 番 号 (中 分 類)	31		
事 業 活 動 の 概 要	事業内容 自動車部品及びそれに伴う金型、機械器具等の開発製造・販売 従業員数 63名		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	1,113	t-CO ₂	基準となる原単位	0.2497 t-CO ₂ /百万円
		平成27年度及び平成28年度の平均排出量 (1,113 t-CO ₂) を基準とし、年度平均20% (約223t-CO ₂) 以上、合計で1115 t-CO ₂ 以上の削減目標とする。				
		※(0.2692*0.2317)^(1/2)=0.2497				
削減目標	その他ガス	対象ガスなし				

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	1,113	t-CO ₂	基準となる原単位	0.2497 t-CO ₂ /百万円
		平成27年度及び平成28年度の平均排出量 (1,113 t-CO ₂) を基準とし、年度平均26% (約289t-CO ₂) 以上、合計で1445 t-CO ₂ 以上の削減目標とする。				
削減目標	その他ガス	対象ガスなし				

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	株式会社 エフテック 久喜第2工場	久喜市河原井町43番地
2	設備センター	加須市花崎5丁目3番
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	452				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	基準	1,113	886			
	前年度比（％）	—				
	基準となる排出量に対する削減率（％）	20.4				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		886				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基準	0.2497	0.2678			
	前年度比（％）	—				
	基準となる原単位に対する削減率（％）	-7.2				
活動規模の指標単位		3,309.00				
付加価値額		百万円				

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	新型コロナウイルスの影響により仕事量が減少（対前年度比売上26%減）
令和3年度 (2021年度)	
令和4年度 (2022年度)	
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場コンプレッサー更新 (2台削減及びインバーター式1台へ更新)	R1以前	R1以前	182.0
2	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	溶接電源 不稼動時の電源OFFによるCO2削減 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	6.0
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不稼働時におけるクーリングファンの停止 第3計画期間も継続	R1以前	R1以前	6.0
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場内 水銀灯照明の廃止と照明更新	R1以前	R1以前	6.0
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	レシーバータンク(圧力容器)容量拡張によるコンプレッサー稼働台数の削減	R1以前	R1以前	29.0
6	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	デマンド監視計の新設	R1以前	R1以前	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場内発送所 水銀灯照明の廃止とLED照明更新	R1以前	R1以前	2.0
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場 作業場食堂通路 蛍光灯照明の廃止とLED照明への更新	R1以前	R1以前	3.0
9	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	第2工場 焼鈍炉立上開始時間の見直しによる電気使用量の削減	R1以前	R1以前	8.0
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場 シーム工程 水銀灯照明の廃止とLED照明への更新	R1以前	R1以前	2.0
11	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第2工場 コンプレッサーインバーター化	R1以前	R1以前	10.0
12							
13							
14							
15							